

# 行財政改革3年・成果はいかに!

第5回  
定例会

9月定例会は9月5日から24日まで、20日間の会期で開かれました。19年度の決算・20年度補正予算・議案18件を可決。健全化判断比率・資金不足比率についての報告、請願1件、意見書2件について審議。教育委員3人の任命に同意しました。

一般質問は9月8日から10日までの3日間行いました。

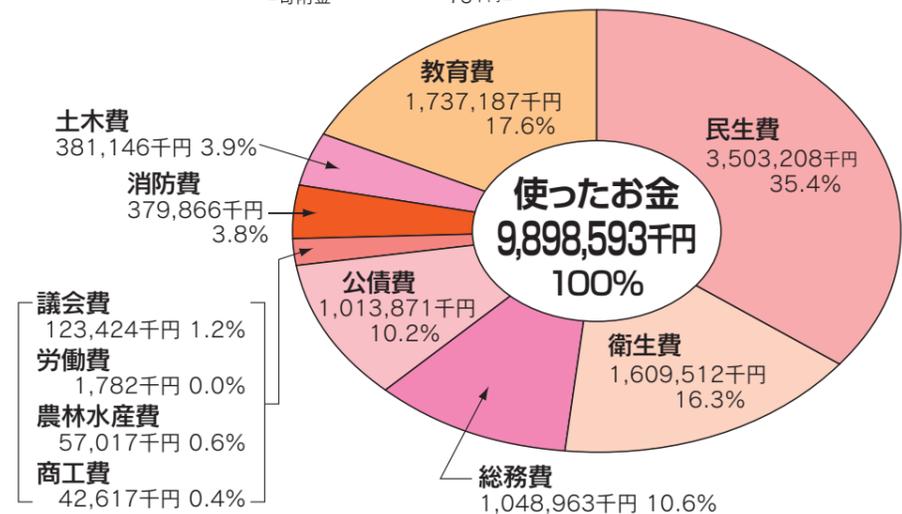
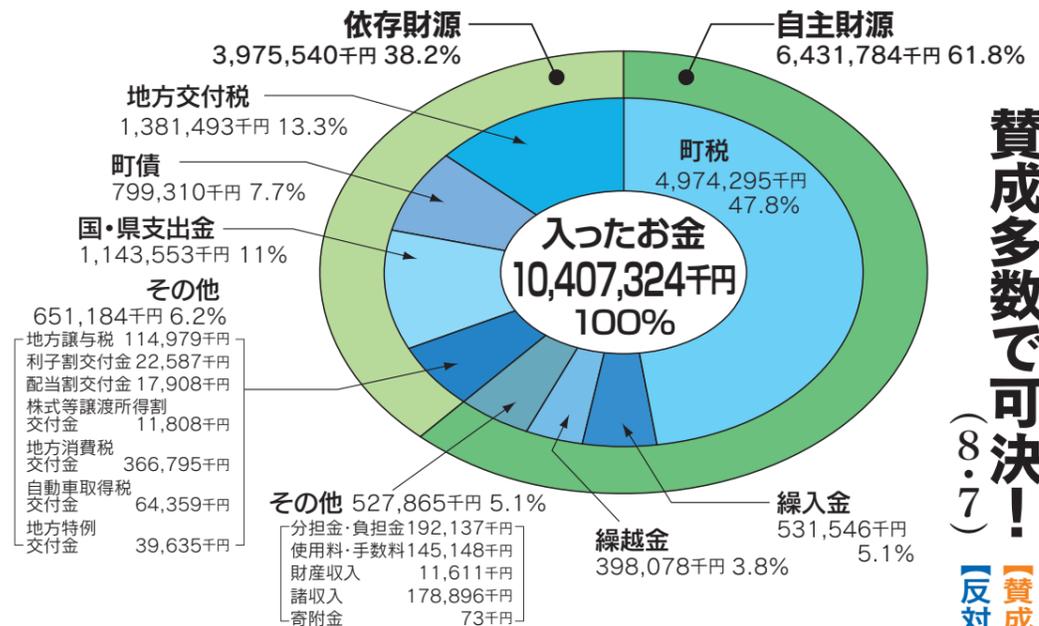
平成19年度決算を認めました。

一般会計98億9800万円

賛成多数で可決!

(8:7)

【賛成】堤・助村・丸山・牛房・大西・吉田・熊本・二宮  
【反対】大熊・吉住・池辺・西川・稲永・大林・末藤



**実質収支**  
平成19年度決算では一般会計で約5億円の黒字。

**地方交付税交付金**  
19年度は13億8,149万円(18年度より約600万円減)。

**町の経営**  
町税は前年度比11.6%増。  
収入済額が前年度比5億1,806万円増収。未納金は約2億7,000万円。

**借金(町債)・貯金(基金)**  
残高は約87億2,000万円。町民1人当たり約20万円。  
貯金(基金)は、財政調整のために4億8,800万の取り崩しを行い、約37億9,000万円。

## 19年度主な工事

- 東学童保育所建設 3,948万円
- 中央小学校校舎増築 8,752万円
- 中央小学校校舎補強・大規模改造 4億4,173万円
- 志免4丁目地内内水対策整備 703万円
- 東区公民館改修 3,728万円



▲改修された東区公民館

## 町の財政状況

主な財政指数	18年度	19年度
経常収支比率(%)	93.7	91.6
財政力指数	0.743	0.767
公債費比率(%)	12.1	11.6

全ての指数において前年度より改善傾向が見られる。

## 反対討論

末藤 議員

高齢者からの増税に次ぐ増税で障がい者も負担増を上げられている中、法人に至っては9,600万の不納欠損は余りにも大き過ぎ、徴収の努力の跡が見受けられません。また、事業系ごみの不自然さについても改善する方向すら見出せないで、処理費用は一般会計からの歳出をいつまで続けられるのか見通しすら示せないでいる。

## 賛成討論

吉田 議員

平成19年度は、厳しい財政運営の中、人件費総額の抑制は19年で約2億3,600万削減し目標達成。個々に応じた指導を充実するため学級補助員の加配がなされたり、積極的な事業展開が行われているが、19年度全体の人件費は去年より約1,200万減の決算。今後必要な事業を選別し、勇気を持って確実に実行されることに期待する。

## 決算特別委員会

委員長 丸山真智子  
副委員長 吉田 耕二

決算審査は特別委員会を設置し、16日から(4日間)行い、古庄議長、二宮監査、丸山委員長を除く13人で採決を行い、賛成少数で否決(6:7)となったが本会議では可決された。